

平成２８年度 第１回五條市総合教育会議議事録

日時：平成２８年７月７日（木） 午後３時００分から

場所：五條市役所 議会委員会室

出席者：・太田好紀市長
・堀内伸起教育長
・寒川英明教育委員会委員
・大西修二教育委員会委員
・井本誓晃教育委員会委員
・井田栄子教育委員会委員

【事務局等】

・松井教育部長
・福塚市長公室長
・青木教育総務課長
・福塚学校教育課長
・角谷生涯学習課長
・山本文化財課長
・上垣子どもサポートセンター所長
・中本企画政策課長

１ 開会（議事進行 福塚市長公室長）

２ 太田市長挨拶

本日、平成２８年度第１回五條市総合教育会議を開催いたしましたところ、皆様方には、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

教育委員の皆様には、平素から教育行政の推進に、ご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、教育を取り巻く環境は、子どもたちのいじめや不登校、ひきこもりなど様々な問題があります。また、社会情勢も大きく変化しており、グローバル化や子どもの貧困の格差など、様々な形の課題が見受けられます。

このような中、教育委員会の皆様には、問題や課題解決に向けて取り組んでいただいております、ご苦勞をお掛けいたしますが、五條市、更には日本の未来を担う子ども達のために、委員の皆様方のお力添えをいただきますようお願い申

し上げます。

本日の会議では、報告事項として、本年2月18日に五條市学校適正化検討委員会により「答申」をまとめていただいた学校の適正化についてと外2点、また、協議事項として、問題行動等諸問題への対応についてを予定しております。

今回で3回目の会議開催となりますが、本年4月1日に堀内教育長をトップとする新制度に移行してから、初めての会議となります。今後とも「総合教育会議」という枠組みのもと、これまで以上に教育委員会と市が連携・協力し、また、活発な議論を交わし、より良き教育の方向性を見出すことができますことをご期待申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。

3 報告案件

※報告案件の前に、福塚市長公室長から今回の会議の議事録への署名は、大西委員にお願いすることとなっている旨説明があった。

(1) 学校の適正化について

【報告】青木教育総務課長

学校適正化の進捗状況、課題等について説明

五條市学校適正化検討委員会の「答申」

- ①学校規模 小学校学年2クラス以上、中学校学年2～3クラス
- ②小中一貫教育を前提。6－3制の弾力化について検討
- ③ふるさと学習の導入

【報告】福塚学校教育課長

学校適正化に関して小中学校の連携等について説明

- ・小中で一貫性のあるカリキュラムを市教研で検討
- ・五條の子どもたちにつけたい力を明文化
- ・小学校中学校互いに授業を公開するなどの取組の実施

現在はまだ小中一貫は実施されてはいないが、教員の意識改革等大きな成果が出ている。

【質問】井田委員

(小中学校の連携について) 中学校の先生は専門性があるため出張授業などが増え負担がかかると聞いているが。

【回答】福塚学校教育課長

小学校、中学校はそれぞれ互いに不満があった。しかし、一堂に会し、連携について考えることで負担感の考え方も変わってきている。

【質問】 大西委員

自分が子供のころは、学校は歩けるところで育ってきた。今後スクールバス等を利用する方法にならざるをえない。距離のことは保護者の関心ごととなる。現状で保護者にとっての学校の距離感に関して五條市の場合のデータはあるか。

【回答】 青木教育総務課長

文部科学省の基準が距離から時間にかわっている。バス利用を前提に1時間。五條市の状況は調査中である。

(2) ふるさと学習の推進について

【報告】 福塚学校教育課長

五條かるたの作成等のふるさと学習に関する取組について報告。

- ・五條新町学のような冊子を校区ごとに作成。
各校区ゆかりの小中学校の教員で調査執筆にあたっている。
- ・市制30周年のときに作成された五條かるたを大塔、西吉野を含めた五條全体の特色を取り込みリニューアル。
中学生に内容を作ってもらい、高校生に形にってもらいそれを小学校に配布する予定。

【意見】 市長

五條市は来年市制60周年という節目であり、それをきっかけとして50年先を見据えた今後のまちづくりを考えていきたい。その中の一つに教育行政がある。子どもの数が減っているが環境面が重要である。親が五條市の歴史を知らないから指導できない。合併し西吉野も大塔も一つである。親子で地元五條市の理解が進むようにしなければならない。

【意見】 堀内教育長

ふるさと学習については、教材だけでなく「教科 ふるさと」というのを設けるということも考えていきたい。他では教科を設けることは積極的に行われているし、教科の新設はこの4月から届出だけでできるようになった。

【意見】 太田市長

例えば、井上内親王が何か知らない人が多い。そういったものを掘り出し、理解してもらえるようにしていかなければならない。また五條、西吉野、大塔で五條市は一つだという認識の共有が必要。そういう形をつくるべきという時期に来ていると思う。

【意見】 寒川委員

かるたの話が出ているが、以前、松倉重政の紙芝居を作ったという話も聞いている。このふるさと学習は、教育委員会だけでなく観光など市全体としての取組が必要でないか。

【意見】 井本委員

井上内親王、栄山寺を創建した藤原武智麻呂、森田節斎、戸野兵衛など五條市ゆかりの偉人の情報を手ごろに入手できるようにしてはどうか。そういった情報も掘り起こして子どもに伝えたい。

【意見】 太田市長

鍵屋弥兵衛もいる。

【意見】 堀内教育長

そういったことも全て今度作成する教材に入れる予定。それをピックアップしてもらって観光の面等で大きくしてもらい、五條検定などにつなげていければ。

【意見】 太田市長

川村たかし先生の本もあまり読まれていない。もっと読まれてもよい。

(3) 地域コミュニティの活性化について

【報告】 角谷生涯学習課長

五條市におけるコミュニティスクール（学校運営協議会）に関する取組について報告

- ・平成25年から調査研究を開始
- ・平成26年度に学校協議会運営規則を制定
- ・平成28年4月に9校を指定

【補足説明】 堀内教育長

指定されていない4校も指定予定。全体で約150名のボランティアがいるが、

少ないと思う。５００名程度は必要である。
大学生の参加もある。

【質問】 太田市長
大学生が参加するきっかけはどのようなものか。

【回答】 角谷生涯学習課長
ホームページで募集したり、大学に声をかけるなどしている。

【補足説明】 福塚学校教育課長
市立の学校に教育実習に来た時に声をかけたりもしている。

【補足説明】 堀内教育長
学校の適正化が固まれば、もっと強固に推進していける。

【質問】 太田市長
学校適正化の今後の流れは？地区別の説明会は開催するのか？

【回答】 青木教育総務課長
平成３０年度から適正化がスタートする予定。当面は、素案についてパブコメの実施をしたり、関係団体の意見を聴く等の形で進める予定。

【補足説明】 松井教育部長
説明会は新しい中学校区単位で行う予定であるので現時点では行いにくい。

【質問】 寒川委員
学年の区切りについて６－３制　４－３－２制、５－４制と色々な案が出ている。４－３－２制になって新しい校舎を作るわけではないだろうから、前期だけここ、中期だけここ、後期はここといった形になるのでは？

【説明】 堀内教育長
分離型を使えば解決する。全部そろった一体型にしようと思えば、新しい校舎を建てなければいけない。方針が固まってきたらそのあたりも考えなければいけない。

４ 協議事項 問題行動等諸問題への対応について

【説明】 上垣子どもサポートセンター所長

いじめ防止対策推進法を踏まえたいじめ問題等に対する五條市の対応の案について説明。

①五條市いじめ問題対策連絡協議会の要綱の条例化

②五條市いじめ防止基本方針の策定

③学校いじめ防止基本方針の策定

④学校におけるいじめ問題対策委員会の設置

⑤五條市いじめ防止対策委員会の設置

⑥五條市いじめ問題に関する第三者委員会の設置

・他市の状況として、樫原市が対策済み。

香芝市、天理市、桜井市、大和高田市などで検討中である。

・子どもサポートセンター、学校教育課、教育総務課、企画政策課で協力して進めていくことになる。

・①の条例化については、年度内に行いたい。

・⑥については、企画政策課で対応をお願いしたい。

【補足説明】 中本企画政策課長

⑥については、市長部局で対応することとなった場合、担当する部署は、他市の状況もみながら検討したい。

この第三者委員会での調査が必要なときは、裁判沙汰になっているときなどと思われる。したがって人選や検討する内容、組織建てなどについてかなりきっちりしたものをつくる必要があると思われる。他市の状況も調べながら参考にする必要があると思われる。

【意見】 堀内教育長

第三者委員会を設けなければならない状況は大変な事態である。まずは、教育委員会の中でできる、県の方針を受けて作る五條市いじめ防止基本方針、学校が調査をして解決できなかった問題を調査する、五條市いじめ防止対策委員会の設置。ここまでは早急にやっておかなければいけない。五條市いじめ問題対策連絡協議会の要綱の条例化も必要である。

5 その他協議事項 問題行動等諸問題への対応について

【質問意見】 太田市長

次回の会議は、いつごろ開催の予定か。

【回答】 福塚市長公室長

学校適正化のスケジュールで８月に素案が策定される予定。非常に重要な計画の素案なのでできた段階で皆様にみていただきたい。

【回答】 中本企画政策課長

いじめ対策の条例案等につきましても委員の皆様、市長に見ていただきたいと考えている。次回はそれが必要かと思っている。

【補足】 福塚市長公室長

（以上を踏まえて）次回は１０月の初旬を目途に開催させていただきたい。

【意見】 井本委員

開催の日程は、柔軟に設定してほしい。

【意見】 太田市長

日程については、きちんと調整を行うように。

6 閉会